

- (1) 本研究に参加し、シャントシステムが挿入された後、一定の期間を経て効果なきもの、あるいは重篤な合併症（出血・感染症）などをきたした時とか、あるいは主治医がそう判断する場合にはご相談の上、シャントシステムを抜去し研究を終了します。
- (2) あるいは、貴方様から辞退の申し入れがあった場合にもシャントシステムを抜去し研究を終了します。
- (3) 貴方が仮に転院・転居などにより施術を実施した施設での経過観察並びに治療の継続が不可能となった場合は、その後の経過観察として本研究班に属す転居先近くの施設を紹介するか、無理なら研究を終了します。あるいは、貴方のご希望とその時の状況によっては最寄りの施設を紹介し、研究は終了するも治療の継続ができるよう適切に配慮します。

11 秘密の保全

本研究は、厚生労働省特定疾患研究「正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究(H17-難治-17)」班に属する多施設共同研究であります。本研究は臨床研究であり、遺伝子研究は含まれていません。先に厚生労働省より出されている「臨床研究指針」を遵守し、個人の人権擁護と個人情報の保護には格別に配慮されます。本研究では、(1) 十分の説明と同意を得て参加して頂くこと、

(2) 一旦同意が得られこの臨床研究に参加して頂いた患者さんであっても、理由の如何によらず患者さんの自由意思により参加あるいは継続の撤回ができること。そして、そのことによりその後の治療の継続に於いて何ら不利益を被るものではないこと。(3) 研究協力者の個人情報や診療録、あるいは研究資料にて個人名が不特定多数に公開されることはありません。つまり、本研究中の資料でカルテ（診療録）に保存すべきものはカルテに保存されますが、そうでない調査用記入用紙等個人情報が掲載されている資料はそれぞれの施設毎の分担研究者にて研究終了までの間は厳重に保管され、その後適切な方法（シュレッダーにかけるなど）で破棄されます。また、全体の集計に供する（主任研究者所属部署へ郵送される）資料からは氏名などの個人の特定に繋がる情報は切り離されて解析に供されます。従って以後の集計や結果の公表などの段階で貴方の個人名が公表されることは全くありません。

12. 貴方が遵守すべき事項

特別のことはありませんが、何かあれば遠慮なさらずに下記の本研究の担当医にご相談頂きたいと思えます。

13. 貴方の費用負担

今回の研究は新たな技術開発を目的とするものではなく、正常圧水頭症を正しく診断して、適切に処置することによって治療効果を判定し、髄液シャント術の妥当性を確立するものです。従って本研究においては、実際に実施する診断や検査、あるいはシャント術など一連の診断と治療の流れは全て通常の保険医療として承認されているものばかりであります。ですので、本研究に伴う診療と治療に関わる諸費用は通常の保険診療として実施されます。資料の解析などに必要とされる諸費用は研究班の負担となり貴方に対しての新たな負担は発生しません。

14. 担当医師の氏名・連絡先および医療機関の相談窓口

(1) 研究を実施する上での様々な日常のご相談は、貴方の担当医師にご相談になって下さい。

担当医師：

連絡先：

(2) 重大な事態、あるいは、重大な副作用など研究班全体を通して討議すべき事項は、担当医に伝えると同時に事態によっては直接主任研究医師にご連絡下さい。

・主任研究医師：新井 一；所属 順天堂大学脳神経外科

連絡先：順天堂大学脳神経外科

住所 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1
電話 03-3813-3111 (代表)

以上でご説明を終わります。

殿

「特発性正常圧水頭症の前向き観察研究」

研究協力同意書

私は、この臨床研究について、_____医師より以下の内容につき文書をもって十分な説明を受けました。

1. 本研究の目的
2. 本研究の方法
3. 参加予定期間
4. 参加登録予定患者数
5. 予期される臨床上の利益および危険性または不便
6. 他の治療方法および予測される重要な利益および危険性
7. 本研究に関連する健康被害が発生した場合の補償および治療
8. 自由意思による参加、同意の随時撤回、また、参加拒否や同意撤回による不利益な取り扱いを受けないこと
9. 参加継続に影響を与える可能性のある情報の速やかな伝達
10. 参加を中止する場合の条件
11. 秘密の保全
12. 貴方が遵守すべき事項
13. 貴方の費用負担
14. 担当医師の氏名・連絡先および医療機関の相談窓口
(説明を受けた項目をチェック)

私は以上の説明を受けて研究協力に(同意いたします・同意できません)。

但し、研究協力するとしても、今後シャント術を受けるかどうかについては、脳外科医から手術に関する具体的なお話をお聞きしてから決定します。(手術同意書は別に各施設ごとに取り揃えること。)

署名

同意日：平成____年____月____日

参加同意者ご本人の署名：_____

代諾者署名(本人との関係：_____)：_____

説明日：平成____年____月____日

担当(説明)医師の署名：_____

_____ 殿

「特発性正常圧水頭症の前向き観察研究」

研究協力同意書

私は、この臨床研究について、_____ 医師より以下の内容につき文書をもって十分な説明を受けました。

- 1. 本研究の目的
- 2. 本研究の方法
- 3. 参加予定期間
- 4. 参加登録予定患者数
- 5. 予期される臨床上の利益および危険性または不便
- 6. 他の治療方法および予測される重要な利益および危険性
- 7. 本研究に関連する健康被害が発生した場合の補償および治療
- 8. 自由意思による参加、同意の随時撤回、また、参加拒否や同意撤回による不利益な取り扱いを受けないこと
- 9. 参加継続に影響を与える可能性のある情報の速やかな伝達
- 10. 参加を中止する場合の条件
- 11. 秘密の保全
- 12. 貴方が遵守すべき事項
- 13. 貴方の費用負担
- 14. 担当医師の氏名・連絡先および医療機関の相談窓口
(説明を受けた項目をチェック)

私は以上の説明を受けて研究協力に(同意いたします・同意できません)。

但し、研究協力するとしても、今後シャント術を受けるかどうかについては、脳外科医から手術に関する具体的なお話をお聞きしてから決定します。(手術同意書は別に各施設ごとに取り揃えること。)

署名

同意日：平成____年____月____日

参加同意者ご本人の署名：_____

代諾者署名(本人との関係：_____)：_____

説明日：平成____年____月____日

担当(説明)医師の署名：_____

_____ 殿

「特発性正常圧水頭症の前向き観察研究」

研究協力撤回書

私は、標記臨床研究について、先に研究協力を同意しましたが、私の都合により本日をもって研究協力同意を撤回したいのでご承知願います。

署 名

ご本人の署名 : _____

代諾者署名（本人との関係 : _____） : _____

同意撤回年月日 : 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

上記書面受け取り医師の署名 : _____

受け取り年月日 : 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

_____ 殿

「特発性正常圧水頭症の前向き観察研究」

研究協力撤回書

私は、標記臨床研究について、先に研究協力に同意しましたが、私の都合により本日をもって研究協力同意を撤回したいのでご承知願います。

署名

ご本人の署名 : _____

代諾者署名（本人との関係 : _____） : _____

同意撤回年月日 : 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

上記書面受け取り医師の署名 : _____

受け取り年月日 : 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

AVIM (asymptomatic ventriculomegaly with features of iNPH on MRI;文献1) の登録

[記入医師名: _____、登録例の匿名化番号(注1): _____]

下記の該当する項目を○で囲んでください。アンダーラインの部分はご記入ください。

1. 登録基準(下記のAとBを共に満たす例を登録してください)

- A. **認知症・歩行障害・排尿障害がない** 3つの項目全てにおいて、iNPHGS(文献2、注2)は grade ≤ 1 とする(他の神経症状があっても登録対象とする):
- ① 他覚的な認知症がない: iNPHGS (grade: 0・1: どちらかに○)
MMSE の得点: _____
 - ② 他覚的な歩行障害がない: iNPHGS (grade: 0・1: どちらかに○)
3m Timed Up & Go Test の結果: _____ 秒、_____ 歩
 - ③ 尿失禁がない: iNPHGS (grade: 0・1: どちらかに○)
(頻尿: 無・有、尿意切迫: 無・有、その他 _____)
(参考項目: 上記以外の神経症状: 複数可 _____)
- B. **脳MRIでEvans index > 0.3 and 高位円蓋部クモ膜下腔の不釣合な狭小化**: 脳MRI上、この2つの基準を共に満たす例を登録基準とする。ただし、Evans index ≤ 0.3 でも「高位円蓋部クモ膜下腔の不釣合な狭小化」がある例も別個に解析しますので登録してください。撮像方法、画像の提出方法については、添付の「脳MR画像について」(注3)をご覧ください。
Evans index = _____ (数字を記入)

2. 登録例の情報:

- A. **基本情報**: 年齢 (____ 歳)、性 (男・女)、居住都道府県 (_____)
脳MRI検査を受けた理由 (脳ドック、その他、具体的に _____)
教育歴 (____ 年)、職業 (過去: _____ 現在: _____)
頭部外傷歴 (無・有: 有の場合、____ 歳時に _____)
現在の疾患 (無・有: 有の場合、病名: 複数可 _____)
既往疾患 (無・有: 有の場合、病名: 複数可 _____)
神経疾患の家族歴 (無・有: 有の場合、病名: 複数可 _____)
- B. **生活習慣**: 現在の喫煙 (無・有: 有の場合、____ 歳から1日平均 _____ 本)
過去の喫煙習慣 (無・有: 有の場合、____ 歳から ____ 歳まで1日平均 _____ 本)
飲酒 (無・有)、運動習慣 (無・有)
- C. **健康状態**: 身長 (____ cm)、体重 (____ kg)
- ① 血圧 (最高 _____ mmHg; 最低 _____ mmHg)、高血圧の治療 (無・有)
 - ② 血糖 (____ mg/dl 空腹時・食後 ____ 時間)、HbA_{1c} (____ %)、
糖尿病の治療 (無・有: 有の場合、食事療法、経口薬、インスリン)、
75g OGTT 実施の場合には、(前値 _____ mg/dl; 30 分値 _____ mg/dl;
60 分値 _____ mg/dl; 90 分値 _____ mg/dl; 120 分値 _____ mg/dl) を記入
 - ③ 脂質 (TC _____ mg/dl; TG _____ mg/dl; LDLc _____ mg/dl; HDLc _____ mg/dl)
脂質異常症 (高脂血症) の治療 (無・有)

- **注 1:**匿名化番号を用いて記入医に登録例の照会をすることがあります。
1～2 年後の再調査の時にも、この匿名化番号を使用します。記入医は独自に匿名化番号を作成してください。カルテの ID や生年月日等、個人が特定できる可能性のある数字・記号は避けてください。
- **注 2:**「iNPH Grading Scale (iNPHGS)」(Kubo et al, Dement Geriatr Cogn Disord, 2008)

Grade	Definition
<i>Cognitive impairment</i>	
0	normal
1	complaints of amnesia or inattention but no objective memory and attention impairment
2	existence of amnesia or inattention but no disorientation of time and place
3	existence of disorientation of time and place but conversation is possible
4	disorientation for the situation or meaningful conversation impossible
<i>Gait disturbance</i>	
0	normal
1	complaints of dizziness of drift and dysbasia but no objective gait disturbance
2	unstable but independent gait
3	walking with any support
4	walking not possible
<i>Urinary disturbance</i>	
0	normal
1	pollakiuria or urinary urgency
2	occasional urinary incontinence (1–3 or more times per week but less than once per day)
3	continuous urinary incontinence (1 or more times per day)
4	bladder function is almost or completely deficient

- **注 3:**「脳 MR 画像について」

脳 MRI の撮像内容、撮像方法について:

- (a)水平断 FSE 法 T2WI, FSE 法 FLAIR または PDWI, SE 法 T1WI
(AC-PC 線または OM 線に平行, 5-6mm 厚程度)
- (b)冠状断 SE 法 T1WI
(水平断に直行, 5-6mm 厚程度)
- (c)矢状断 3D-GRE 法 T1WI(3D-SPGR, MPRAGE など)
(VSRAD 推奨条件)

画像の提出:

DICOM 形式で、匿名化した上で、CD-R または USB メモリで提出

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

【書籍】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石川正恒	正常圧水頭症	小林祥泰, 水澤英洋	神経疾患 最新の治療	南光堂	東京	2009	156-161
石川正恒	特発性正常圧水頭症	松谷雅生, 田村 晃	脳神経外科周術 期管理のすべて	メデイカ ルビュー	東京	2009	571-577
石川正恒	正常圧水頭症	浦上克也	老年医学の基礎 と臨床II	ワールド プランニ ング	東京	2009	103-110
中野今治	運動ニューロン疾患	高久史磨, 尾形悦郎, 黒川 清, 矢崎義雄 監修	新臨床内科学 第9版	(株)医学書 院	東京	2009	1202-1209
橋本康弘, 北爪しのぶ	アルツハイマー病の 原因酵素が糖鎖を変 えていた	谷口直之	in press				
森 悦朗	認知症である場合	上月正博, 高橋哲也	リハビリ診療ト ラブルシュー ティング	中外医学 社	東京	2009	105-106

【雑誌】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Nakajima M, Miyajima M Arai H	Lumboperitoneal shunt placement using computed tomography and fluoroscopy in conscious patients.	J Neurosurg	111(3)	618-622	2009
中島 円, 宮嶋雅一, 新井 一	特発性正常圧水頭症の髄液補助診断法	Geriatric Neurosurgery	21	99-105	2009
石川正恒	特発性正常圧水頭症診療ガイドラインの国際比較	Geriatric Neurosurgery	21	85-90	2009
石川正恒	特発性正常圧水頭症診療ガイドライン作成とその後の展開	洛和会病院医 学雑誌	20	31-35	2009
石川正恒	特発性正常圧水頭症：最近の動向	脳神経外科	38	7-14	2009
Zabstein CP, Yamamoto M, Lopez AN, Ujike H, Mata IF, <u>Izumi Y</u> , Kaji R, Maruyama H, Morino H, Oda M, Hatter CM, Edwards KL, Schellenberg GD, Tsuang DW, Yearout D, Larson EB, Kawakami H	LRRK2 mutations and risk variants in Japanese patients with Parkinson's disease	Mov Disord	24	1034-1041	2009
Kamada M, Maruyama M, Tanaka E, Morino H, Wate R, Ito H, Kusaka H, Kawano Y, Miki T, Nodera H, <u>Izumi Y</u> , Kaji R, Kawakami H:	Screening for TARDBP mutations in Japanese familial amyotrophic lateral sclerosis	J Neurological Sci	282	69-71	2009

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yuichiro Inatomi Toshiro Yonehara Yoichiro Hashimoto Teruyuki Hirano Makoto Uchino	Corellation between ventricular enlargement and white matter change	J Neurol Sci	169(1-2)	12-17	2008
Oi. S, Luedemann.W, Samii. W, Samii. M	Evolution Theory in Cerebrospinal Fluid dynamics: A Hypothesis for Failure of Neuroendoscopic Ventriculostomy in Treatmen of Hydrocephalus in Fetal, Neonatal and Early Infantile Periods.	Journal of Hydrocephalus	1-1	2-10	2009
Oi.S, Enchev.Y	Neuroendoscopic foraminal plasty of foramen of Monro.	Child's Nervous System	24-8	933-942	2008
Kurschel S, Ono S, Oi S	isk reduction of subdural collections following endoscopic third ventriculostomy.	Childs Nerv Syst	23-5	521-526	2007
Oi S, Abdullah SH	New Transparent Clear Peel-away Sheath for Various Neuroendoscopic procedures: Technical Note.	J Neurosurg	107	1244-1247	2007
Iseki C, Kawanami T, Nagasawa H, Wada M, Koyama S, Kikuchi K, Arawaka S, Kurita K, Daimon M, Mori E, Kato T	Asymptomatic ventriculomegaly with features of idiopathic normal pressure hydrocephalus on MRI(AVIM) in the elderly: A prospective study in a Japanese population.	J Neurol Sci	277	54-57	2009
Uchiyama T, Sakakibara R, Yamamoto T, Ito T, M CY, Awa Y, Yano M, Yanagisawa M, Kobayashi M, Higuchi Y, Ichikawa T, Yamanishi T, Hattori T, Kuwabara S.	Comparing bromocriptine effects with levodopa effects on bladder function in Parkinson's disease.	Mov Disord	[Epub ahead of print]		2009
Hirano S, Asahina M, Uchida Y, Shimada H, Sakakibara R, Shinotoh H, Hattori T.	Reduced perfusion in the anterior cingulate cortex of patients with pure autonomic failure: an 123I-IMP SPECT study.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	80(9)	1053-1055	2009
Sakakibara R, Ogata T, Uchiyama T, Kishi M, Ogawa E, Isaka S, Yuasa J, Yamamoto T, Ito T, Yamanishi T, Awa Y, Yamaguchi C, Takahashi O.	How to manage overactive bladder in elderly individuals with dementia? A combined use of donepezil, a central acetylcholinesterase inhibitor, and propiverine, a peripheral muscarine receptor antagonist.	J Am Geriatr Soc	57(8)	1515-1517	2009
Sakakibara R, Koide N, Kishi M, Ogawa E, Shirai K.	Aseptic meningitis as the sole manifestation of Behçet's disease.	Neurol Sci	30(5)	405-407	2009
Ogawa E, Sakakibara R, Kishi M, Shirai K.	Exercise-induced hypertension in pure autonomic failure.	Eur J Neurol	16(8)	e151-152	2009
Uchiyama T, Sakakibara R, Yoshiyama M, Yamamoto T, Ito T, Liu Z, Yamaguchi C, Awa Y, Yano HM, Yanagisawa M, Yamanishi T, Hattori T, Kuwabara S.	Biphasic effect of apomorphine, an anti-parkinsonian drug, on bladder function in rats.	Neuroscience	162(4)	1333-1338	2009

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kishi M, Sakakibara R, Nagao T, Terada H, Ogawa E.	Thalamic infarction disrupts spinothalamocortical projection to the mid-cingulate cortex and supplementary motor area.	J Neurol Sci	281(1-2)	104-107	2009
Sakakibara R, Uchiyama T, Kuwabara S, Mori M, Ito T, Yamamoto T, Awa Y, Yamaguchi C, Yuki N, Vernino S, Kishi M, Shirai K.	Prevalence and mechanism of bladder dysfunction in Guillain-Barré Syndrome.	NeuroUrol Urodyn	28(5)	432-437	2009
Furukawa R, Sakakibara R, Hosoe N, Kishi M, Ogawa E, Suzuki Y.	Ataxia and middle cerebellar peduncle lesions in hepatic encephalopathy.	Neuroradiology	51(4)	273-274	2009
Yamamoto T, Sakakibara R, Uchiyama T, Liu Z, Ito T, Awa Y, Yamanishi T, Hattori T.	Questionnaire-based assessment of pelvic organ dysfunction in multiple system atrophy.	Mov Disord	24(7)	972-978	2009
Yamamoto T, Sakakibara R, Nakazawa K, Uchiyama T, Shimizu E, Hattori T.	Effects of electrical stimulation of the striatum on bladder activity in cats.	NeuroUrol Urodyn	28(6)	549-554	2009
Sakakibara R, Ito T, Uchiyama T, Awa Y, Yamaguchi C, Hattori T.	Effects of milnacipran and paroxetine on overactive bladder due to neurologic diseases: a urodynamic assessment	Urol Int	81(3)	335-339	2008
Sakakibara R, Kishi M, Ogawa E, Shirai K.	Isolated facio-lingual hypoalgesia and weakness after a hemorrhagic infarct localized at the contralateral operculum.	J Neurol Sci	276(1-2)	193-195	2009
Sakakibara R, Uchiyama T, Yamanishi T, Kishi M.	Sphincter EMG as a diagnostic tool in autonomic disorders.	Clin Auton Res	19(1)	20-31	2009
Yamashita F, Sasaki M, Takahashi S, et al.	Detection of changes in cerebrospinal fluid space in idiopathic normal pressure hydrocephalus using voxel-based morphometry	Neuroradiology	Epub ahead of print		2009
佐々木真理	特発性正常圧水頭症の画像診断	臨床放射線	54(6)	722-725	2009
Tamase A, Muraguchi T, Naka K, Tanaka S, Kinoshita M, Hoshii T, Ohmura M, Shugo H, Ooshio T, Nakada M, Sawamoto K, Onodera M, Matsumoto K, Oshima M, Asano M, Saya H, Okano H, Suda T, Hamada J, Hirao A.	Identification of tumor-initiating cells in a highly aggressive brain tumor using promoter activity of nucleostemin.	Proc Natl Acad Sci USA	105(46)	18012-18017	2009
Huang S, Hirota Y, Sawamoto K.	Various facets of vertebrate cilia: motility, signaling, and role in adult neurogenesis.	Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci	85(8)	324-336	2009
Kaneko N, Sawamoto K.	Adult neurogenesis and its alteration under pathological conditions.	Neurosci Res	63(3)	155-164	2009

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Enomoto, A., Asai, N., Namba, T., Wang, Y., Kato, T., Tanaka, M. Tatsumi, H., Taya, S., Tsuboi, D., Kuroda, K., Kaneko, N., Sawamoto, K., Miyamoto, R., Jijiwa, M., Murakumo, Y., Sokabe, M., Seki, T., Kaibuchi, K., Takahashi, M.	Roles of Disrupted-In-Schizophrenia 1-Interacting Protein Girdin in Postnatal Development of the Dentate Gyrus	Neuron	63(6)	774-787	2009
Suzuki, T., Miyamoto, H., Nakahari, T., Inoue, I., Suemoto, T., Jiang, b., Hirota, Y., Itohara, S., Saido, T.C., Tsumoto, T., Sawamoto, K., Hensch, T.K., Delgado-Escueta, A.V., Yamakawa, K.	Efhc1 deficiency causes spontaneous myoclonus and increased seizure susceptibility	Hum Mol Genet	18(6)	1099-1109	2009
匹田貴夫, 澤本和延	成体の脳組織における神経幹細胞と再生医療	医学のあゆみ	231(11)	1112-1116	2009
黄 詩恵, 廣田ゆき, 澤本和延	神経組織における繊毛の役割	細胞工学	28(10)	1016-1020	2009
澤本和延	脳に内在する神経再生機構	臨床神経学	49(11)	830-833	2009
小島拓郎, 廣田ゆき, 澤本和延	成体脳におけるニューロン新生	慶應医学	85(2)	169-177	2009
Norihiro Suzuki, Shinichi Takahashi, Tomohisa Dembo, Koichi Oki and Hiroaki Kimura	Mechanism of the cerebrospinal fluid removal test responsible for improving the gait disturbance in patients with iNPH, as evaluated using the XeCT-CBF method.	Mov Disord	24 (suppl 1)	S424-425	2009
Atsuta N, Watanabe H, Ito M, Tanaka F, Tamakoshi A, Nakano I, Aoki M, Tsuji S, Yuasa T, Takano H, Hayashi H, Kuzuhara S, Sobue G, Research Committee on the Neurodegenerative Diseases of Japan.	Age at onset influences on wide-ranged clinical features of sporadic amyotrophic lateral sclerosis.	Neurol Sci.	Jan15; 276(1-2)	163-169	2009
Hara K, Shiga A, Fukutake T, Nozaki H, Miyashita A, Yokoseki A, Kawata H, Koyama A, Arima K, Takahashi T, Ikeda M, Shiota H, Tamura M, Shimoe Y, Hirayama M, Arisato T, Yanagawa S, Tanaka A, Nakano I, Ikeda S, Yoshida Y, Yamamoto T, Ikeuchi T, Kuwano R, Nishizawa M, Tsuji S, Onodera O.	Association of HTRA1 mutations and familial ischemic cerebral small-vessel disease.	N Engl J Med	360	1729-1739	2009

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Okuno T, Nakayama T, Konishi N, Michibata H, Wakimoto K, Suzuki Y, Nito S, Inaba T, Nakano I, Muramatsu S, Takano M, Kondo Y, Inoue N.	Self-contained induction of neurons from human embryonic stem cells.	PloS ONE		e6318	2009
Muramatsu S, Okuno T, Suzuki Y, Nakayama T, Kakiuchi T, Takino N, Iida A, Ono F, Terao K, Inoue N, Nakano I, Kondo Y, Tsukada H.	Multitracer assessment of dopamine function after transplantation of embryonic stem cell-derived neural stem cells in a primate model of Parkinson's disease.	SYNAPSE	63	541-548	2009
藤原雅代, 森田陽子, 松坂恵介, 中野今治, 福田隆浩	著明な自律神経症状を呈した末梢神経障害の59歳男性例.	BRAIN and NERVE	61(9)	1089-1097	2009
安藤喜仁, 澤田幹雄, 森田光哉, 河村 満, 中野今治	左中前頭回後部限局性梗塞により不全型Gerstmann症候群・超皮質性感覚失語を呈した65歳男性例.	臨床神経学	49	560-569	2009
中野今治	Alexander病	Clinical Neuroscience	27;7	722-723	2009
中野今治	日本で初めてのパーキンソン病遺伝子治療	難病と住宅ケア	15(6)	40-43	2009
松森隆史	実験的水稻症マウスにおけるアクアポリン4の発現について	聖マリアンナ医科大学雑誌	36巻5号	395-403	2008
Kitazume, Hashimoto, et al.	α-2, 6-Sialic acid on Platelet Endothelial Cell Adhesion Molecule (PECAM) regulates its homophilic interactions and downstream antiapoptotic signaling.	J. Biol. Chem.	in press		
Mitsuki, Hashimoto <i>et al.</i>	Siglec-7 mediates non-apoptotic cell death independently of its immunoreceptor tyrosine-based inhibitory motifs in monocytic cell line U937	Glycobiology	in press		
Takashima, Hashimoto <i>et al.</i>	Analysis of CMP-sialic acid transporter-like proteins in plants	Phytochemistry	70	1973-1981	2009
Kitazume, Hashimoto, et al.	Molecular insights into b-galactoside α-2, 6-sialyltransferase secretion in vivo	Glycobiology	19(5)	479-487	2009
Futakawa, Hashimoto <i>et al.</i>	Development of sandwich ELISA for plasma 2, 6-sialyltransferase, a possible hepatic disease biomarker	Anal Chimi Acta	631	116-120	2009
堀 智勝 他	特発性正常圧水頭症に対して第三脳室終板開窓術が有効であった一症例	リハビリテーション医学	47巻(3) 予定	未定	2010
森 悦朗	特発性正常圧水頭症の臨床	臨床放射線	54	713-721	2009
山田晋也, 諸星行男, 宮崎美津恵, 青木郁夫, 山下祐市, 清水誓子, 中橋昌男	新世代のCSF Flow Imaging:Time-SLIP法の新たな臨床応用	Rad Fan	Vol.7 No.9	31-34	2009
山田晋也	MRIを試用した脳脊髄液hydrodynamicsの観察CSF bulk flow imaging - 現状と今後の展望 -	脳神経外科	37巻11号	1053-1064	2009

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
山田晋也, 諸星行男, 宮崎美津恵, 青木郁夫, 山下祐市, 清水誓子, 中橋昌男	新しいCSF Flow Imaging-non contrast Time - Spatial Labeling Inversion Pulse (Time-SLIP) 法を応用して-	Routine Clinical MRI 2010 BOOK	Vol.41 No.14	85-90	2009
湯浅龍彦	1.高齢期のパーキンソン病の類縁疾患 3) 正常圧水頭症	Geriatric Medicine (老年医学)	47(8)	973- 980	2009

